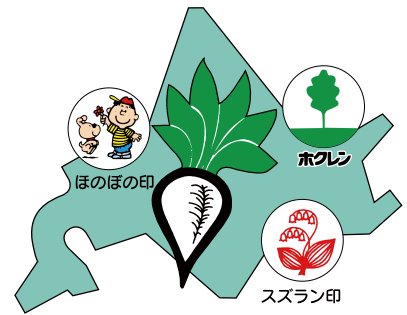


# てん菜 だより

2022.11

第 8 号



発行／一般社団法人北海道農産協会／〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目 ☎011-221-2542 FAX011-221-1815  
URL <https://hokkaido-nosan.or.jp>



てん菜品種試験現地圃場調査

## てんさい

巷では商品値上げのニュースばかりです。昨までは肥料や資材、燃油などの高騰が大きな話題でしたが、それらの問題は完全には解決されないまま、ここに来てその波は私たちの生活必需品、食料品にまで押し寄せています。

スーパーで商品を手にとると、それぞれが少しずつ値上がりしていることを実感します。週に1、2度しか訪れない私を感じるのですから、日々、家計をやりくりされる奥様方は、まさに骨身を削る思いでお買い物をされているのだと思います。

かくいう「お砂糖」も、実はこの一年間で相当に値上げをしました。てん菜生産者や砂糖製造業者を含めた私たちお砂糖の業界は、これまでも生産コストの削減に努めてきましたが、このところの海外粗糖相場の高止まりや、円安などによる様々なものの値上がり、さらに恐ろしく高い水準で推移する燃油代など、自助努力だけではとうてい賄いきれない、やむを得ない事情によるものです。

お砂糖はほんの数年前まで、スーパーでの客寄せの目玉商品として、それこそビックリするような安い値段で売られていたこともありましたが、気が付けば「一次の特売日まで待とうかな」と、買うのをためらうことさえあります。

国内のお砂糖の消費量は、ここ数年コロナ禍の影響などにより大きく減少しました。しかし、世の中は「脱コロナ社会」に向け動き始めています。人の流れが活発になって国内外のお客様が日本各地の観光地を賑わせ、甘くて美味しい各地名産のお菓子が飛ぶように売れることを望まずにはいられません。

本年のてん菜は、春先から厳しい気象に翻弄されました。そのような中、頑張って元気に育ってくれたてん菜から出来たお砂糖が、どうか皆様のお口に、早く届いて欲しいと思います。

(K)

### 協会の普及啓発活動

北海道農産協会が担当しているJAグループ北海道「天下糖一プロジェクト」の道内対策の実施状況についてお知らせします。

### ハイスクールパティシエロワイヤル

JAグループ北海道で特別協賛をしております「ハイスクールパティシエロワイヤル2022」の本選が、3年ぶりに実開催で、ゲスト審査員にモンサンクレールオーナーシェフ

JAグループ北海道特別協賛  
ハイスクールパティシエロワイヤル 2022  
入賞4作品発売決定! 10/10-10/23

今年度は14の高校から全24作品のご応募いただきました! 審査の結果、下記4作品の入賞と全道のセイコーマートでの商品化が決定。全道のハイスクールパティシエロワイヤルのスイーツを楽しめるのはもうこれだけ! 是非、ご賞味ください。

第1位 北海道札幌南高等学校  
「さなごかおるりんたろーる」

第2位 北海道札幌南高等学校  
「トマトとピーツのさっぱり夏マカロン!」

第3位 北海道札幌南高等学校  
「【朝のモンブラン】」

第4位 北海道札幌南高等学校  
「【朝のモンブラン】」

お買い求めは全道のセイコーマートで! Seicomart

辻口博啓氏を迎え、7月30日に三笠市の三笠高校生レストラン「ミカサクッキングエソール」にて開催され、全道の高校14校23チーム24作品の応募から一次審査で選定された8チームにより競われました。  
上位入賞4作品は商品化され、10月に期間限定で全道のセイコーマートで販売されました。  
また、上位4作品以外の入賞4作品も、入選した学校のある地域限定で今後商品化・販売を計画しております。  
大会の様子は天下糖一プロジェクトホームページに掲載されていますのでご覧ください。

### シュガーセミナー インハイスクール

ハイスクールパティシエロワイヤル2022の協賛事業として、大会に出場する高校の掘り起こしと、高校生に正しい砂糖の知識の普及と消費拡大を目的に、砂糖に関する講義と、お菓子作り実習などの出前講座を昨年に続き実施しております。  
今年も全道の高校から多くの開催希望があり、全道15校を対象に7月より順次実施しております。



講師の田中颯太さんによる講義



高校生のお菓子作り実習

写真は7月21日に札幌市の北海道札幌東商業高校で実施した時のものですが、セミナーにおいては、三笠高校生レストランの「三笠地域おこし協力隊」田中颯太さんを講師に招き、砂糖やてん菜に関する講義のほか、お菓子づくり実習、砂糖と人工甘味料を使用したお菓子の食べ比べを実施しました。  
当セミナーを受講した高校生が、今回の体験で学んだことを生かして、友人や家族との会話や、お菓子作りを通して、今後の消費拡大に貢献してくれることを期待します。



# オンライン食育& お菓子作りセミナー

全道の小学生とその家族を対象に、砂糖に関する食育と簡単に作れるお菓子作り体験にそれぞれの家庭から親子でオンライン参加できるセミナーを8月6日に開催致しました。



夏休み中の当日は午前と午後2回合計で42組98名の多くの親子の参加がありました。

講師には料理研究家で管理栄養士の坂下美樹先生を迎え、砂糖に関する栄養や砂糖の持つ力についての



坂下美樹先生の講習

話をしていただいた後、参加者に砂糖を使ったお菓子作り体験として、わらび餅作りにチャレンジしてもらいました。

包丁も火も使わず電子レンジだけで作ることから、低学年の子供も自



わらび餅づくり

ら調理でき、全ての参加者がおいしいわらび餅を完成させることができ、「簡単でおいしい」と大変好評でした。

お菓子作りの後、砂糖の原料である「てん菜」の生産者代表として、北海道農協青年部協議会の宇野清将副会長にオンラインで参加していただき、「てん菜の畑は甘いにおいがあるの?」とか、「てん菜をそのまま食べたらどんな味?」など子供ならではの質問にも楽しくていねいに答えて頂きました。



宇野清将副会長

セミナー終了後の参加者アンケートでは、「内容がわかりやすく、身近な砂糖について子供だけでなく大人も興味を持って学ぶことができた。」「砂糖についての正しい知識を学ぶことが出来た。」などの感想が

聞かれました。

コロナ禍のなか、オンラインではありましたが、同年代の子供たちが一緒にお菓子作りをし、砂糖について学ぶことができたのは貴重な経験であったと思います。

このオンラインセミナーは、今後も11月、1月、3月に開催することを予定しています。

天下糖一のホームページでは様々



わらび餅づくり

な活動を紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

(<https://tenkatou-project.jp>)



## てん菜輸入品種 検定試験調査

北海道農産協会では、毎年各糖業にて収量と糖分のバランスがとれ、各種病害に抵抗性を有する品種を選抜し北海道農作物優良品種の認定に向け、北海道立総合研究機構農業研究本部にてん菜輸入品種検定試験を委託しております。



美瑛町現地試験ほ場

尚、近年の農業情勢に加えて、緑

の食料システム戦略を踏まえ関係者でとり進めております。試験内容としましては、生産力検定試験、特性検定試験並びに地域の適応性や地帯別の適品種選定の為の現地検定試験（美瑛町・真狩村・斜里町）を優良品種決定の資料とするため道内各地で実施しています。

本年の検定試験に於ける気象経過につきましては、定植後の乾燥や強風、更に低温となりましたが、その後天候は一転し高温多雨となり、各試験ほ場に於いては、大なり小なりの生育障害を受ける事が懸念されましたが、各所の試験担当者の精細な対応を頂き概ね平年並みの生育となり、一定の試験成績を得る事が出来ました。

本年の品種検定試験調査に当りましては、新型コロナウイルス感染症対策に則り、北海道立総合研究機構農業研究本部と相談し取進めさせて頂きました。

優良品種検定試験ですが、先に述



北見農試生産力検定試験

べた試験内容を農業研究本部で行うのですが、その試験に供試する品種選定を糖業毎に海外での有望品種を輸入し予備試験を行い選抜した品種を供試する事で取り進めています。各糖業から供試された品種について次の通り検定試験を行っております。

### 1. 生産力検定試験

輸入品種検定試験（十勝農業試験場・北見農業試験場）、品種連絡試

験（日本甜菜製糖株式会社・ホクレン農業協同組合連合会・北海道糖業株式会社）の5ヶ所にて各糖業者が海外より導入された品種の中から収量と糖分のバランスがとれた品種の検定を行っています。

### 2. 特性検定試験

各病害に対する抵抗性を調査し、一定の基準を満たしているかどうかを調査し優良品種選定の資料としていきます。



抽苔耐性試験 抽苔耐性評価が中



調査検定項目として、北見農業試験場にて抽苔耐性・そう根病抵抗性、十勝農業試験場にて褐斑病抵抗性・根腐病抵抗性、中央農業試験場にて黒根病抵抗性の検定を実施しています。

### 3. 現地検定試験

地域適応性を検討し、地帯別の適正品種選定の資料としています。

試験実施地区は、道央地区の羊蹄山麓の真狩村と中部として美瑛町、網走地区の沿海として斜里町の3カ所で実施しています。

現地試験につきましては、実施地区の農業試験場と当該地区の農業改良普及センターとの連携、更に生産者並びに関係機関のご協力を頂き実施しているものであります。

てん菜輸入品種検定試験により、生産性の向上や耐病性に優れたより良い品種の能力調査と選抜を行い、てん菜を安定的に作付け出来るよう



褐斑病菌を接種して人的に発病させ耐性を調査

に今後関係者連携を図り取組んで参ります。

本年度新たな委託試験の紹介  
「テンサイ褐斑病抵抗性かなり強を  
超える系統に対する防除技術の開  
発」

褐斑病抵抗性が「かなり強」の評価を得ている優良品種より、更に優れた抵抗性を持つ供試品種が輸入品種検定試験で確認されています。

現在優良品種の認定候補としての試験中ではありますが、この品種を用いて、農薬使用回数がどの程度削減した防除体系が可能かの試験を行っており、その結果に期待が持たれます。

## てん菜研究会の 開催について

7月20日(水)にグリーンテクノバンク第20回てん菜研究会技術研究発表会がオンラインにて開催され、各研究機関・糖業者・生産者団体等から164名の参加がありました。  
技術研究発表会では有種関連・栽培関連・作業機器開発関連など12課題が発表され、オンラインでの開催となりましたが、活発な質疑応答が行われておりました。

また特別講演「テンサイ直播適性はどこまで明らかになったか」の講演がなされ、意見交換が行われました。

## 製糖所・工場受入開始日程

日本甜菜製糖株式会社	10月10日
芽室製糖所	10月10日
美幌製糖所	10月7日
士別製糖所	10月4日
ホクレン農業協同組合連合会	
中斜里製糖工場	10月12日
清水製糖工場	10月20日
北海道糖業株式会社	
北見製糖所	10月13日
道南製糖所	10月12日
本別製糖所	10月10日



令和4年（2022年）産てん菜の生産見込数量（令和4年8月20日現在）

北海道 農政部 生産振興局 農産振興課

令和4年産てん菜の生産見込数量

(総合) 振興局	令和3年(2021年)産(実績)			令和4年(2022年)産(見込)			対前年比			[参考] 平均単収 <sup>(※)</sup>
	作付面積	ha当たり収量	生産量	作付面積	ha当たり収量	生産量	作付面積	ha当たり収量	生産量	
	(ha)	(t/ha)	(t)	(ha)	(t/ha)	(t)	(%)	(%)	(%)	(t/ha)
空知	684.66	71.8	49,170	620.33	74.0	46,000	90.6	103.0	93.6	66.90
石狩	1,252.75	70.4	88,193	1,194.37	65.0	77,600	95.3	92.3	88.0	65.30
後志	1,227.64	62.9	77,152	1,191.40	61.0	72,700	97.1	97.1	94.2	59.55
胆振	1,418.78	62.0	88,001	1,322.91	60.0	79,300	93.2	96.7	90.1	58.70
日高	41.99	63.3	2,657	37.83	53.0	2,000	90.1	83.8	75.3	57.64
渡島	147.55	54.0	7,973	133.70	54.0	7,200	90.6	99.9	90.3	51.46
檜山	341.65	63.3	21,641	336.43	57.0	19,200	98.5	90.0	88.7	58.63
上川	3,567.25	58.2	207,526	3,362.74	71.0	240,000	94.3	122.0	115.7	62.91
留萌	216.54	63.2	13,685	194.23	72.0	14,000	89.7	113.9	102.3	58.71
宗谷	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
オホーツク	22,854.71	69.4	1,586,674	22,086.11	69.9	1,544,500	96.6	100.7	97.3	67.16
十勝	25,343.10	74.7	1,891,874	24,296.28	64.0	1,555,000	95.9	85.7	82.2	68.62
釧路	294.76	64.4	18,980	289.40	58.4	16,900	98.2	90.7	89.0	63.57
根室	117.45	62.4	7,323	116.26	56.8	6,600	99.0	91.1	90.1	58.46
合計	57,508.83	70.6	4,060,849	55,181.99	66.7	3,681,000	96.0	94.5	90.7	67.33

※ 平均単収は、直近7か年（R3（2021）～H27（2015））のha当たり収量のうち最高、最低を除く5か年分の平均。

令和4年産 てん菜生産見込数量

10月5日に令和4年産てん菜の生産見込数量（8月20日現在）が北海道農政部生産振興局農産振興課より発表されました。  
 本年の現在までの生育等概略は次のとおりです。

【令和4年産てん菜の作付面積】

作付面積は55,182haとなり、前年の57,509haを2,327ha下まわりました。

【てん菜の生育状況】

一部地域で8月の多雨により病害が発生しています。

【令和4年産てん菜生産見込数量】

全道のha当たり収量見込みは66.7トンとなっており生産量見込みは368万1000トンとなっております。

協会の動き

9月～11月

- ・輸入品種検定試験現地調査（9月22～28日）
- ・糖分測定センター操業前点検（9月20・21・22・26日）
- ・全道6糖分測定センター
- ・第2回審議委員会
- ・第2回理事会（10月27日）
- ・糖分測定センター立入点検（受入期間中2回実施予定）
- ・全道6糖分測定センター

事務所移転のご案内

今まで共済ビル5階北側フロアにありました北海道農産協会の事務所が、北海道農産基金協会に隣接する南側フロアに移転し、両協会の事務所がワンフロアとなりました。  
 引越は7月中旬に済ませており、順次整えております。  
 耕種団体等の組織統合の基本的な考え方にに基づき、北海道農産協会と北海道農産基金協会は、引き続き効率的・機能的な事業推進を図ってまいります。